

第33回

オンライン開催・参加費無料

講師・内容説明会

今回のテーマは

「離職防止」



2026.7.27 MON

近年、自治体職員の離職が大きな課題となっています。その背景には、働き方に対する価値観の多様化や、エンゲージメントの低下、業務負担の不公平感など、さまざまな要因があります。そのため、従来の人材育成やマネジメントだけでは対応が難しくなっており、人材の定着に向けて新たな視点が求められています。しかし、「何から取り組めばいいのか分からない」「組織側からの働きかけだけでは限界がある」といった声も多く聞かれます。

本説明会では「離職防止」をテーマに、職員一人ひとりが前向きに働き続けられるために「内側からのアプローチ」に着目した研修をご紹介します。講師3名がそれぞれ異なる視点から、明日から実践できる具体的なヒントや施策の方向性を多角的にお伝えします。

ぜひこの機会に、弊社講師陣による現場に即した研修内容をご体感いただき、貴団体における職員研修企画のご参考にしてください。

実施方法

Zoomによるオンライン形式

※入退室は自由です ※当日はWebカメラとマイクをご準備ください

対象

地方自治体・行政機関および関連団体の研修ご担当者

※自治体職員もしくは関連団体職員の方限定とさせていただきます

定員

限定 80 名（1団体2アカウントまで）

申込方法

下記URLもしくは、
右のQRコードからお申し込みください。

<https://x.gd/AA1Zg>



プログラムは裏面へ→

プログラム

13:25~13:30 開会挨拶・事務連絡

※ご参加の際は、Webカメラとマイクのご準備をお願いいたします。
※各セッションの入退室は自由です。

13:30~14:20

「ワークエンゲージメント向上」

望月 数久 氏

一般社団法人 日本経営協会講師



本研修は、ワークエンゲージメントを高め、職員一人ひとりが将来に希望を持って働き続けられる力を育むことを目的としています。

上司や先輩の経験から学びながら、自身の強みや価値観、挑戦したい領域を言語化することで整理し、これからのキャリアの方向性を描きます。また、職場の仲間や上司とのつながりを仕事を支える資源として捉え直し、自分らしく成長し続けるための視点を養います。

大学卒業後、静岡県職員として38年間勤務。条例改正や行政実務、学校法人設立、中央省庁との調整など幅広い業務に従事。2024年に退職後、りゅうじゅ社会保険労務士事務所を開設し、現在は研修講師・特定社会保険労務士として活動している。行政現場で培った実務経験と専門的な視点を活かした研修は、受講生の目線に立った分かりやすい内容として好評を得ている。

14:30~15:20

「職員の定着と主体性を高める ジョブクラフティング」

早川 健治 氏

一般社団法人 日本経営協会講師



本研修は、日々の仕事の中にある「働きがいの余白」を見つけ、自らの仕事への前向きな関わり方を持つことを目的としています。制度や前例、手続き、住民対応、人員体制など、公務員の仕事にはさまざまな制約があります。

そのような環境の中でも、自分で工夫できる仕事の進め方や仕事の意味づけに着目し、働きがいを高める視点を学びます。決められた仕事の中にも工夫できる余地を見つけ、やりがいや成長実感、職場への定着につなげる具体的な考え方や実践のヒントを学びます。

民間企業にて小売店店長、営業、人事部門を経験。現在は企業・自治体向けに、組織風土改革、若手定着、ダイバーシティ、職場コミュニケーション、キャリア開発等の研修、コンサルティングを行っている。個人の原因にしない職場改善や、誰もが主体的に動きやすいと感じられる環境づくりを支援。職場の現状や受講者の役割を踏まえ、すぐに小さく応用できる内容を得意とする。

15:30~16:20

「変化の時代に求められる レジリエンスと離職防止」

伊藤 有香 氏

一般社団法人 日本経営協会講師



本研修は、レジリエンスの視点から離職防止を目指すことを目的としています。変化が多くストレスと切り離せない時代において、職員一人ひとりが安心して働き続けるためには、「折れない力」ではなく、「落ち込んでも立ち直る力」を育てることが重要です。

本研修では、レジリエンスの基本的な考え方を理解するとともに、現場で実践できる関わり方や支援のポイントを学びます。

大学卒業後、大手都市銀行に入行。民間企業で研修・インストラクター業務に従事し、現在は研修講師・キャリアコンサルタントとして活動。レジリエンス研修を得意とし、メンタルヘルスやキャリアデザイン、コミュニケーションなどを組み合わせた講義を行っている。難しい言葉を使わない分かりやすい説明と明るく前向きな人柄により、受講生から高い評価を得ている。

16:20~16:25 閉会挨拶・事務連絡